

久留倍官衙遺跡公園活用・保存

令和3年度

歴史館来館者数 3,053人 (8月26日まで) **累計 19,932人**

※8/27～9/30 緊急事態宣言により休館

<活用>

○「久留倍官衙遺跡公園開園1周年記念イベント」 11月7日(日)

第1部 周辺史跡ウォーキング

第2部 記念コンサート 出演：麗明智翔氏(箏演奏家)・末松範子氏(ピアノ)

○企画展

・夏季企画展「万葉植物で久留倍をまなぼう！」 7月14日(水)～8月26日(木)

※予定9月5日までが新型コロナウイルス感染による緊急事態宣言発令のため短縮

展示解説会 7月17日(土)、8月7日(土)子ども向け実施

8月21日(土) ※「三重県まん延防止等重点措置」期間のため中止

「植物を観察して俳句をよもう！」(ワークシート)

・秋季企画展(公園開園1周年記念展)「久留倍から古代の生活をのぞいてみよう！」

10月27日(水)～12月5日(日)

展示解説会 10月30日(土)、11月20日(土)

・研修室ミニ展示①「学校連携展示 大矢知興譲小学校 久留倍官衙遺跡公園ポスター展」

7月22日(木・祝)～10月17日(日)

・研修室ミニ展示②「ボランティア企画展」 10月27日(水)～12月5日(日)

・研修室ミニ展示③「一般来園者参加型木簡年賀状展(仮)」 1月5日(水)～1月30日(日)

○講演会

・「四日市と吉野～壬申の乱でみる・語る・語られる～」11月27日(土) 講師：吉野町 中東洋行氏

・2月19日(土) 講師：NPO法人ニワ里ネット 望月友恵氏

○体験

・ゴールデンウィーク企画「くるべで勾玉をつくろう！」 4月29日(木・祝)

・ゴールデンウィーク企画「端午の節句に菖蒲の葉っぱで髪飾りをつくろう！」 5月5日(水・祝)

・公園活用企画「親子で万葉植物をじっくり見てみよう!(万葉植物観察会)」

講師：桐生定巳氏(四日市市文化財保護審議会会長) 6月20日(日)

・夏休み企画「ハンカチを青く染めよう」 8月5日(木)、8月12日(木)

・冬季企画「木簡年賀状づくり(仮)」 12月18日(土) 講師：柴田清峰氏

・冬季企画「くるべで火をおこそう！」 1月中旬(予定)

・冬季企画「ペーパークラフトで古代の「門」をつくろう！」 2月下旬(予定)

○あさけプラザとの連携

- ・久留倍官衙遺跡と周辺史跡ウォーキング 4月25日(日)
- ・久留倍官衙遺跡藍染めワークショップ 9月9日(木) ※「緊急事態宣言」期間のため中止
- ・久留倍官衙遺跡展示会の実施 あさけプラザ「国指定史跡 久留倍官衙遺跡出土品展」
10月1日(金)～12月24日(金)(予定)

○明和町齋宮跡連携事業

- ・出張パネル展示(さいくう平安の杜)「万葉植物とくるべ(仮)」 日程未定

○四日市市立博物館出張展示

- ・「国指定史跡 久留倍官衙遺跡展」 1月29日(土)～2月27日(日)

○県外へのPR

- ・あいちの考古学 プレゼンテーション、ポスターセッション 12月11日(土)・12日(日)

<保存>

- 史跡整備・東斜面横断側溝設置のための測量、実施設計

<ボランティア活動>

○登録者数 39名(R3.4.1現在)

のべ活動人数 335名(R3.4～8月 ※8/27～9/30まで新型コロナウイルス緊急事態宣言により臨時休館により活動無し)

○活動

- ・くるべ古代歴史館展示解説案内、くるべ古代歴史公園解説案内
- ・体験支援 古代衣装、木簡、手織り(歴史館常時) ※新型コロナウイルス感染防止のため中止
勾玉作り、火おこし、ペーパークラフト
- ・小中学校への出前講座 勾玉体験(大矢知興譲小 5人、羽津小 6人)
- ・イベント支援
- ・日常管理 史跡地植栽

○研修 3回実施 10月11日(月)、12月初旬、1月31日(月)

遺跡まつりウォーク下見、消火訓練、体験イベント練習ほか

<維持・管理>

- ・公園内除草清掃 年4回以上 状況に応じて
- ・屋外トイレ清掃 2日置き
- ・公園入口、駐車場鍵の管理 4月～9月:解錠 午前6時、施錠 午後8時
10月～3月:解錠 午前7時、施錠 午後6時
- ・公園 芝生・植栽の清掃、水やり、集水桝の清掃、施設修繕 等
- ・歴史館 清掃、施設修繕 等

令和2年度の実施事業および令和3年度事業実績・予定

学校関係活用

1. 令和2年度の取り組みや令和3年度の事業予定

(1) 学校の活用実績

- ①学校の活用数 延べ8校(市内小学校延べ6校、市外小学校1校、市内中学校1校)
- ②学校の活用内容 生活科探検、展示・講演見学、勾玉体験講座、社会見学等

(2) 学校や関係機関へ社会教育・文化財課からの提案実績

- ・R2.11.11 四日市市教育委員会教育懇談会
- ・R3.1.6.と1.7 朝明中学校区(計3校)へ訪問
- ・R3.3.11 第11回小・中学校校長会での連絡

(3) 令和3年度の事業予定

北部地域の各小・中学校へ訪問し、久留倍官衙遺跡公園の活用を依頼。

2. 学校の活用実績(令和3年度4月から12月 予定含む)

日付	学校名	学年	内容	備考
4.30(金)	朝日小学校	5年	遠足	
5.7(金)	大矢知興譲小学校	1・6年	遠足	
5.10(月)	大谷台小学校	3・5年	遠足	三重県緊急警戒宣言を受け2学期に延期予定
6.3(木)	小山田小学校	6年	社会見学	
6.11(金)	大矢知興譲小学校	6年	館内・公園見学	
7.1(木)	八郷西小学校	6年	社会見学	
7.15(木)	大矢知興譲小学校	6年	勾玉体験	出前授業
7.16(金)	羽津小学校	6年	勾玉体験	出前授業
10.4(月)	三重北小学校	4・5・6年	遠足	
10.14(木)	八郷小学校	6年	勾玉体験	出前授業
10.15(金)				
10.27(水)	羽津北小学校歴史		体験	
11.17(水)	クラブ			
12.15(水)				
未定	羽津北小学校	6年	遠足	9月29日中止連絡有

3. 各学校へ社会教育・文化財課からの提案実績 計11校(小7校,中4校)

日付	学校	提案内容	備考
5.12(水)	羽津小学校 羽津北小学校 富田小学校	体験講座メニューや、小・中学校での木簡をテーマにした具体的学習活動例の紹介、見学・遠足での利用依頼	新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言等を注視しつつ学校訪問を実施した
5.14(金)	富洲原小学校		
7.16(金)	富田中学校 富洲原中学校 羽津中学校		
8.6(金)	大矢知興譲小学校 朝明中学校 八郷小学校 下野小学校		

4. 夏季教職員研修(久留倍官衙遺跡講座)参加人数 計22名

日付	対象	参加人数	講座内容(概要)
7.26(月)	全	9名	テーマ「知る・見る・体験する」 ・久留倍官衙遺跡概要説明
7.27(火)	初任者	13名	・公園見学 ・木簡をテーマにした授業活用例の紹介と体験 ・勾玉体験

5. 新たな取り組み実績や予定

- ・事前学習に活用できる八脚門等を説明したYouTube配信
- ・クラブ活動での出前講座

6. 提案や協議いただきたい点

- ・さらなる学校活用にむけて必要な方策について

協議事項

(1) 令和4年度事業

【活 用】

○奈良県との連携事業 「壬申の乱 1350 周年」

内容：2022 年は壬申の乱から 1350 年となる。奈良県が主催となり、奈良県内だけでなく、三重県、岐阜県、滋賀県、京都府など壬申の乱とゆかりのある県及び市町村と連携し、講座や現地ウォークなど事業に取り組んでいく。

奈良県より本市に連携の打診があり、事業を行う方向で調整を行う。

事業：展 示「壬申の乱 1350 周年関連」

イベント「(例) 壬申の乱の日に朝日を拝もう！」

○公園のさらなる活用の促進

- ・万葉植物観察会
- ・星空観察会
- ・久留倍官衙遺跡まつり

○学校活用

【整 備】

○公園 排水計画

遺構保護と来園者の安全を確保するため、公園東斜面中段に斜面を横断する排水路の設置を計画。

景観グレーチングの使用検討など、史跡公園としての景観にも配慮する。

国史跡 久留倍官衙遺跡 排水計画について

【当初】

基本設計時は東斜面部分の排水は、北側の大部分が東下段端の側溝で受け、また南側については南東側の側溝で受けるよう設計。草地が十分に生えそろう斜面表面をまんべんなく雨水が流れるものと想定した。

【整備工事後、現況】 経路図現況（図1）

整備工事終了後の降雨の結果、散布した種子が定着する前に流れてしまい、水みちができ、土砂が流出、地形の改変が起きた。特に、南東箇所へ雨水が集中し多くの盛土が流出した。

そのため、追加の種子散布やロンケット藁の敷設工を行い、草地の定着を図った。また斜面中段には斜面を横断するよう一時的な矢板及びパイプ管で仮排水路を設置し、斜面下段に雨水が集中しないよう対策を講じた。

現在、上記の流出対策が奏功し土砂流出がある程度収まってきているが、地形の改変により雨水が斜面下段に過度に集中する現況は変わらない。また、水みちが遺構保護層の盛土を掘り込み、さらに凹凸ができるため公園利用者の散策にも危険な状況である。このままでは遺構保護が保たれず、遺構の破壊に及ぶと考えられ、保護するためには水の流れを無理やりでも変える必要がある。

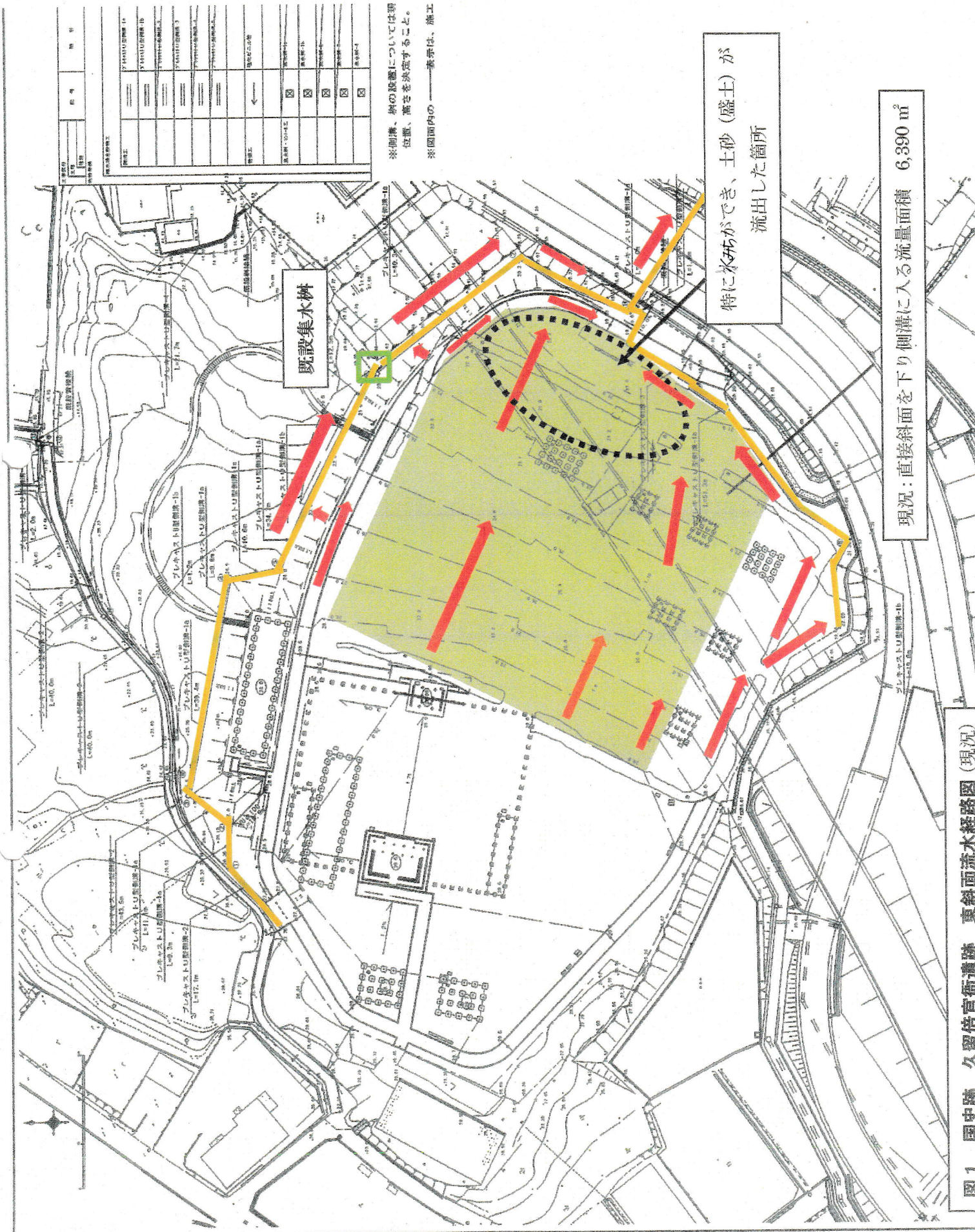
仮排水路は恒久的なものでなく、撤去すると土砂流出も含めた被害が繰り返されるため、遺構保護を保つことを第一とし、現状の課題を解決する抜本的な雨水対策工事を行いたい。

【計画案】 計画検討表（表1） 排水路ルート検討表（表2）、排水ルート選定図（図2）、経路図計画案（図3）

遺構保護を第一とし、遺構・盛土保護性や景観、史跡に悪影響を与える表層水の流量低減等を検討（表1）。その結果、排水設備を設置し、かつ、その排水設備は開渠とするのが最も優れた工法で、地下遺構へ与える影響を最小限にできる方法であると判断した。

また、開渠の設置箇所について、複数の案を検討したが、下流地点での土砂の流出を防ぐことができ、最も効果的な集水面積を保持するのはルート1（表2）であるという結論に達した。

これらの工事は、史跡公園の整備後に生じた事象が原因であり、当初計画通り草地が定着していれば発生しなかった課題である。現況では地形改変により、草地が定着しても一定箇所に水が集中し、水みち、土砂流出が発生することになり、この課題の解決に限って史跡公園の維持管理の観点から早急に対応する必要があり令和4年度の事業化許可をお願いしたい。



種別	位置	高さ	備考
1	1	1	1
2	2	2	2
3	3	3	3
4	4	4	4
5	5	5	5
6	6	6	6
7	7	7	7
8	8	8	8
9	9	9	9
10	10	10	10
11	11	11	11
12	12	12	12
13	13	13	13
14	14	14	14
15	15	15	15
16	16	16	16
17	17	17	17
18	18	18	18
19	19	19	19
20	20	20	20
21	21	21	21
22	22	22	22
23	23	23	23
24	24	24	24
25	25	25	25
26	26	26	26
27	27	27	27
28	28	28	28
29	29	29	29
30	30	30	30
31	31	31	31
32	32	32	32
33	33	33	33
34	34	34	34
35	35	35	35
36	36	36	36
37	37	37	37
38	38	38	38
39	39	39	39
40	40	40	40
41	41	41	41
42	42	42	42
43	43	43	43
44	44	44	44
45	45	45	45
46	46	46	46
47	47	47	47
48	48	48	48
49	49	49	49
50	50	50	50
51	51	51	51
52	52	52	52
53	53	53	53
54	54	54	54
55	55	55	55
56	56	56	56
57	57	57	57
58	58	58	58
59	59	59	59
60	60	60	60
61	61	61	61
62	62	62	62
63	63	63	63
64	64	64	64
65	65	65	65
66	66	66	66
67	67	67	67
68	68	68	68
69	69	69	69
70	70	70	70
71	71	71	71
72	72	72	72
73	73	73	73
74	74	74	74
75	75	75	75
76	76	76	76
77	77	77	77
78	78	78	78
79	79	79	79
80	80	80	80
81	81	81	81
82	82	82	82
83	83	83	83
84	84	84	84
85	85	85	85
86	86	86	86
87	87	87	87
88	88	88	88
89	89	89	89
90	90	90	90
91	91	91	91
92	92	92	92
93	93	93	93
94	94	94	94
95	95	95	95
96	96	96	96
97	97	97	97
98	98	98	98
99	99	99	99
100	100	100	100

※制溝、柵の設置については
位置、高さを決定すること。
※図面内の——表示は、施工

既設集水樹

特に水砒が
でき、土砂（盛土）が
流出した箇所

現況：直接斜面を下り側溝に入る流量面積 6,390 m²

図1 國史跡 久留宮衙遺跡 東斜面流水経路図（現況）

表 1. 久留信宮衛遺跡遺構盛土保護計画図核評表

	排水設備				盛土	現地形草地定着	遺構・盛土保護性	景観性	史跡に悪影響を与える 表層水の流量低減	メンテナンス性	経済性	来園者の影響	総合評価
	開渠(景観グレーチング)	暗渠(単一型)	暗渠(複数型)	半暗渠									
遺構・盛土保護性	○	○	×	×	○	○	○	△	×	×	○	○	×
景観性	○	○	○	○	○	△	△	△	○	○	○	○	○
史跡に悪影響を与える 表層水の流量低減	○	△	×	○	△	○	○	×	×	○	○	○	×
メンテナンス性	○	×	×	×	△	×	×	×	×	○	○	○	○
経済性	△	△	○	○	△	×	×	○	○	○	○	○	○
来園者の影響	△	△	△	△	△	×	×	×	×	○	○	○	○
総合評価	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○

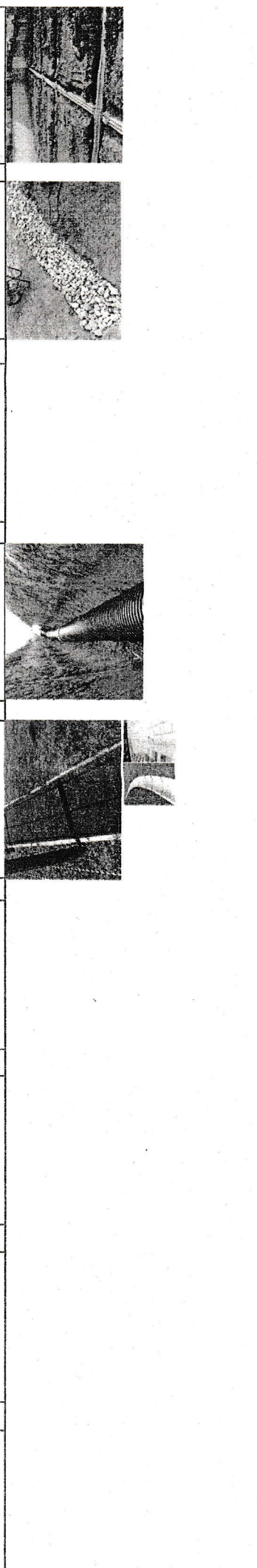


表2 久留倍官衙遺跡排水路ルート検討表

設置箇所	ルート1		ルート2		ルート3	
	斜面中段	斜面中段	斜面上段	斜面上段	斜面最上段	斜面最上段
集水面積 (有効性)	○ 大きい (2,600㎡)	△	△ 小さい (1,700㎡)	×	×	最小 (270㎡)
排水勾配	△ 上流部は急になる	○	○ 緩く抑えられる	○	○	○ 緩く抑えられる
既存集水樹への接続	○ 接続可能	○	×	×	△	接続可能 (ただし、排水路屈折点)
遺構平面表示への影響 (区画溝)	○ 避けることができる	○	○ 避けることができる	○	○	○ 避けることができる

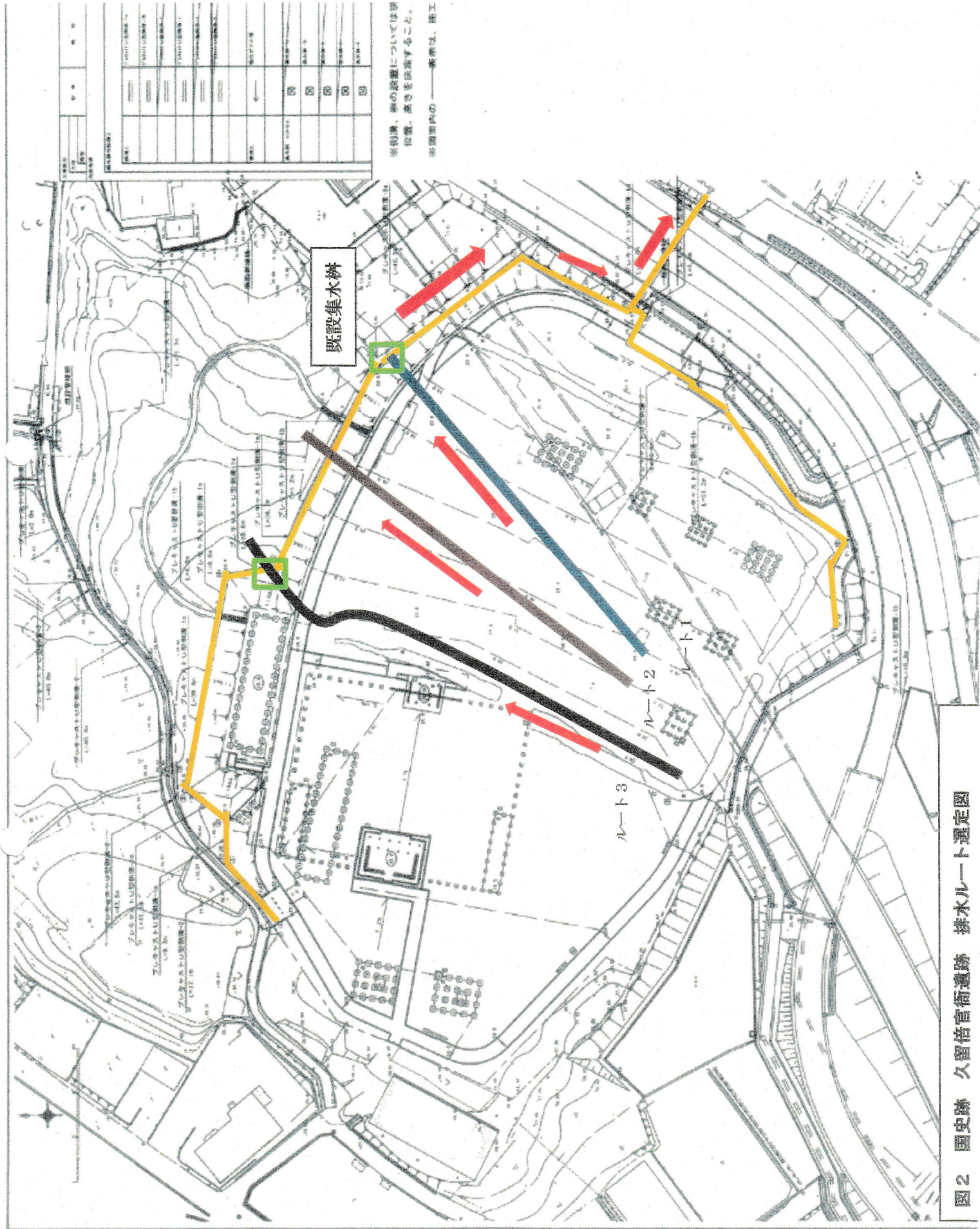
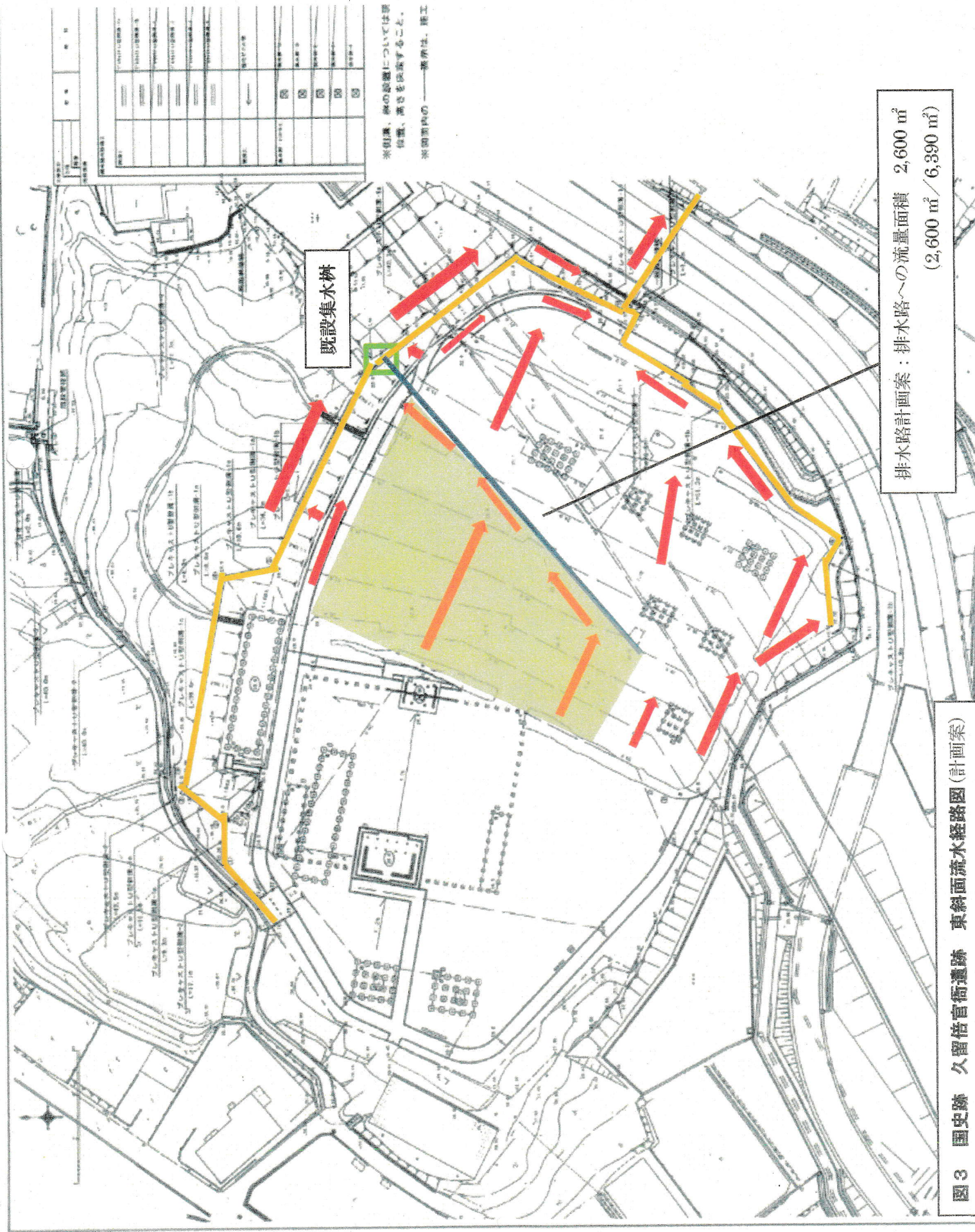


図2 国史跡 久留松官衙遺跡 排水ルート選定図



既設集水枋

※側溝、線の設置については
位置、高さを決めること。
※側溝内の——は、溝内は、竣工

排水路計画案：排水路への流量面積 2,600 m²
(2,600 m² / 6,390 m²)

图3 国史跡 久留倍官衙遺跡 東斜面流水経路图 (計画案)

排水路（景観グレイチング・皿形側溝）

